岩手県立高田高等学校 海洋システム科通信 4月号

【所在地】〒029-2205
岩手県陸前高田市高田町
字長砂78番地12
【電　話】0192-55-3153
【FAX】0192-55-6758

発行元：岩手県立高田高等学校海洋システム科

今旬 岩手魚 蝶鮫（ちょうざめ）

繋げ！人の輪！
（デルノーテ交流事業）

東日本大震災より親交のあるデルノーテ高校から生徒さんたちが来校した！海洋システム科は、ロープワークやちくわパンの作り方を伝授した！！
繋げ！国境なき人の輪！！

はじめの一歩（感謝）
（広田湾海洋環境観測報告会（東海大学連携））

海洋システム科 発表内容

発表してくださったプロフェッショナル

東海大学 坂本泉 様　JAMSTEC 藤倉克則 様　県水産振興センター 宮田小百合 様

東海大学の坂本先生、JAMSTECの藤倉さん、県水試の宮田さんに、震災以降の広田湾の海洋環境の現状やエゾイシカゲガイの研究開発について報告して頂きました！

海洋システム科での"学び"は広田湾の海やそこで働く方々に支えられている。2年生が東海大学とJAMSTECの協力のもと、1年間かけて広田湾で海洋環境観測を行い、その成果を発表した！この取組が、広田の海と水産業に関わる人々への"恩返し"に繋がるはじめの一歩だ！！

先生の独り言 vol.1

深海魚いろいろ

適応がもたらす進化

深海とは、水深200mより深い、光のない世界である。物体には金属バットをペチャンコにしてしまうほどの水圧がかかり、餌や酸素は極めて少ない。つまり、私たちのような動物が生きていくには、とてもきびしい環境なのだ。

そんな深海にも魚がいる。"深海魚"と呼ばれる、体がやわらかく、動きがとてもゆっくりな魚たちだ。やわらかく水分の多い体は水圧の影響を受けにくい。

ゆっくり動くことで、体を動かすために必要なエネルギーや酸素を少なくできる。これら深海魚の特徴は、深海に適応するための進化のたまものだ。深海魚の多くは、もともと浅い水深で暮らしていた。激しい生存競争に負け、深海へ移り住むことになったのだ。この時、過酷な環境でも生きられるように体の構造や生き方を適応させ、進化したのである。

多くの人は、4月から新たな生活が始まるだろう。現在、コロナウイルスの影響で生活する環境や関わる人間関係の幅は、とても狭くなってしまっている。しかし、どのような状況や環境であっても、それに適応することができれば、今とは違う自分へと"進化"できるはずだ。海洋通信を読んで下さっている皆さんが、コロナに負けず、新たな環境で大きく進化することを期待したい。

令和元年度卒業生
海洋システム科での軌跡

最終年 いってこい、“海洋(じぶん)”らしく